

(別紙)

第三者評価結果

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>施設内(クラス、職員室等)や園だよりにて各クラスの『保育のねらい』等の方針は示していますが、アンケートなどから保護者等への周知がまだまだ足りないところがあります。</p>		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>市として子育て支援計画、栃木の社会福祉5年計画の保育ニーズは把握し、中長期的な事業計画の参考としていますが、十分な分析とは言えないところがあります。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>会議は月一や必要に応じて臨時に行う事も有り、職員の意見に耳を傾けています。設備面の老朽化が目立ちますが、予算に対してかなり切り詰めた運用を行っていると思われます。</p>		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p> <p>第2期栃木市子ども子育て支援事業計画を基に、園の運営に必要な計画を確認し、今後の閉園に向けての見直しを行っています。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・(b)・c
<p><コメント></p>		

十分では無いが、年間指導計画、年内行事予定表に具体的な内容を載せ、年度末に評価・見直しをしています。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<コメント> 改善点もありますが、全職員で年間行事計画を確認し、実施後は会議で反省・評価しています。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<コメント> 複数職員にて行事ごとの通知等を確認した上で配布しています。また、保護者からの個別の質問に答えられるように準備しています。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<コメント> 職員会議や園内研修を行う中での気付きや考えについて話し合い、園全体の質の向上に努めています。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<コメント> 評価結果等の改善点について職員で共有し、改善出来る内容についてはできるだけ早く対処するようにしています。		

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<コメント> 災害時マニュアルや事務室掲示等、園長の役割を明確に表し、周知をしています。		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<コメント>		

職員が市開催のコンプライアンス研修に参加し、保育手帳に記載の法令・規則を各自がその都度確認し、遵守するように周知しています。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 園行事などの反省と見直し、自己評価チェックリストからの課題抽出から改善へ職員会議を行う等、積極的に改善に向けた努力を行っています。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> コスト分析等を行う為、予算執行状況表にて把握。次年度の事業計画へ反映させ、参考にしています。会計年度任用職員の任用管理や職員とのヒアリングを実施して働きやすい環境を作っています。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<コメント> 年間での研修計画等が計画されており、保育士・調理員等の有資格者確保はされています。しかし、福祉人材についてはまだ十分ではありません。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<コメント> 市の人事規程や勤務条件等の必要な情報については、説明を各自にしており、夏季休暇や有給休暇取得率、時間外勤務数を各々確認・チェックし、改善に役立てています。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a・b・c
<コメント> 職員各々の事情に応じた勤務時間や休暇、時間外等に配慮しています。メンタルヘルスチェックも行っていますが、ヒアリング、相談する環境が十分では無い点が見受けられます。		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 人事評価制度に基づき、職員が個人目標を決め、ヒアリングも行いながら進めています。		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、	a・b・c

	教育・研修が実施されている。	
<p><コメント></p> <p>職員に対して園内外の研修計画を立てて、周知した上で実施をしています。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>広く職員へ研修参加出来るように配慮しています。研修を受けていない人に対しては、復命書及び会議等で報告し、職員間での共有を図っています。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>実習生研修は、事前に実習生と実習計画の策定をしています。実施後、実習生の在籍校の先生との話し合いや、実習生との反省会など効果的に行っています。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>インターネットでの第三者評価実施済みの内容掲示や、保護者に対して苦情や要望の窓口がある事についての周知も行っています。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>栃木市の各種規程や手引きに沿った事務や会計処理を行っていますが、職務分掌が職員に対して十分に周知されていないところも有ります。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>支援センターとの交流ではセンターの利用者に保育園に訪問してもらい、保育園の様子を知ってもらうようにしています。また、大平民話の会や榎本ふれあい交流会を通じて、地域との交流を深めています。今年は、コロナ感染症の影響で行事が中止になってしまいましたが、夏祭りやハロウィンを園内にて行い子どもたちの志気を高めています。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>中学生・高校生を職業体験として受け入れています。主任保育士が中心となってオリエンテーションを行い注意事項の説明を行っています。地域の方のボランティアも受け入れ「納涼祭」や「じゃがいも掘り」等の活動を行っています。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>支援児については市の巡回相談時にアドバイスをもらい、その後の保育に活用しています。また、こどもサポートセンターやキッズホームとも連携し、子どもの育ちを支えています。またこれらの事は職員会議で説明され、情報の共有化がされています。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育園独自で、福祉ニーズを把握するために組織的な取組をすることはありませんが、市の保育課が調査などの対策を行っています。子育て支援センターとの交流を通じて明らかになった福祉ニーズについては、市の保育課に伝え対応しています。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>運動会や保育発表会等園の行事には積極的に地域の方を招待しています。今後も、地域住民からの意見や要望を把握する事や地域のニーズを把握する事などの積極的な取組に期待します。</p>		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職員に配布されている「保育手帳」には人権に関するチェックリストが記載されており、園内研修においてリストのチェックや読み合わせを行っています。また、人権に関わるDVD鑑賞を行い、相手を思いやる心や命の大切さなどを職員間で話し合いがされています。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われて	a・b・c

	いる。	
<p><コメント></p> <p>「栃木市個人情報保護条例」や「保育所保育指針」に基づき、プライバシー保護について十分な理解・注意を図っています。今後は、園としてのプライバシー保護に関するマニュアルを整備されることを期待します。</p>		
<p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p>		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>栃木市のホームページや施設見学会で保護者に説明を行っています。保護者からの見学要望があった場合でも適時見学ができるように柔軟に対応しており、パンフレットも準備されています。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育の開始に際しては「重要事項説明書」に基づき説明し、保護者の同意を得て署名・捺印をもらっています。また、変更がある場合には保護者と面談を行い、同意を得ています。さらに「個人情報使用同意書」による保護者の同意も得ています。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育所変更は、「移籍希望届」にて行っています。公立保育園以外への個人情報の開示は行っていないですが、今後は公立・私立を問わず生活支援体制についての協議やネットワーク体制の構築をすることに期待します。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>各行事の終了時に保護者アンケートを実施し、回収後職員間で回覧し、見直し改善に努めています。年1回保護者との個人面談を行っており、そこでも満足度の確認を行っています。今後も、定期的にアンケート等により保護者の意思確認をすることを期待します。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>苦情申出窓口設置については、園のしおりに記載されています。また、「重要事項説明書」の中でも苦情申し立てについて説明し、第三者委員の氏名・連絡先を案内されています。苦情を受けた場合は、「苦情処理簿」に解決までの内容が記載されています。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・b・c

<p><コメント></p> <p>クラスの子の保護者に限らず、常に保護者とのコミュニケーションを大切にしながら送迎時などに話しやすい雰囲気作りを心掛けています。ご意見箱は掲示板内に設置してありますが、ほとんど利用された事はありません。保護者の方の意見を集められる環境につながるよう設置場所を工夫することを期待します。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保護者からの苦情や提案は、園長・主任保育士に報告・相談し対応を検討しています。相談記録は、職員間で回覧され共通理解を図っています。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>日々の保育の中で危険を感じた場合は、ヒヤリハットを活用し事故防止と再発防止に努めています。また、散歩マップの活用等園内外の危険個所の確認を行い、事故防止の意識を高めるよう職員間で連携を深めています。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>市が定めた「健康危機管理マニュアル」の中に食中毒緊急時対応や感染症予防対策等を文書化し、保護者への周知方法を記載してあります。ノロウイルス対応もマニュアルに沿って内部研修を行い、職員間の共通理解を図っています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>栃木市の地域防災計画をもとに危険区域などを把握しています。災害時対応マニュアルに基づき、避難訓練の計画を立て毎月行っています。年1回保護者ととともに引き渡し訓練を行っています。備蓄リストに基づき食料や水が備蓄されておりアレルギー対応も行っています。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>栃木市で定めた「標準的な実施方法」は文書化され、全職員が共通の理解をもって保育にあたっています。また、「保育手帳」が各自に配布され常に確認できるようになっています。職員間で実施方法に差異が生じないように園内研修を行っています。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立	a・b・c

	している。	
<p><コメント></p> <p>標準的な実施方法の見直し方法については各保育園から主任保育士会へフィードバックしています。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>指導計画の策定は、園長と主任保育士が行っています。入園前に担当保育士と保護者・子どもとの面接を実施し、家庭での生活状況や様子等を観察して計画策定の材料にしています。3歳未満児や支援が必要な子どもについては個別指導計画が策定され、保護者との面接により同意を得ています。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>各クラス担任が月案・週案を立案し、園長・主任保育士が評価・見直しのアドバイスを行っています。支援が必要な子どもに対する「すくすくシート」の作成については保護者との面接を行い、同意を得て定期的な見直しを行っています。今後、見直しを行うための手順を組織として定めて実施されることを期待します。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育日誌・児童票等の記録は市で定められた様式で作成しています。児童票については記入方法のマニュアルが整備されています。保育の実施状況は早番・遅番・職員会議で周知されています。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>市の文書管理規定に沿って記録・保管・保存・廃棄を行っています。書類の扱い方、守秘義務について「保育手帳」に明記されており、職員間で周知が図られています。</p>		

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>全体的な計画は、栃木市公立保育園で統一された理念や保育方針に基づき、各園の主任保育</p>		

士より内容を検討し作成されています。年度末には子どもの発達や各地域の実態について評価・見直しを行い改善に努めています。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>昭和52年開園の園舎は、老朽化は見られるものの、細やかな点検項目に沿って保育室や園庭（遊具等）の設備や管理を行っています。常に衛生面や安全面に配慮しながら子どもたちが安心して生活できる環境作りに努めています。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育士は、一人ひとりの発達過程や家庭環境を把握した指導計画を作成し、個々の状況に応じた援助を行っています。日々の子どもの様子は、職員間で共有し、健やかな育ちを願い園全体が一つとなって保育にあたっています。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>基本的な生活習慣が身につけられるよう、一人ひとりの発達や家庭での生活リズムを考慮した目標をたて、子ども自らがやろうとする気持ちを受け止めた援助を行っています。保育士は健康面や安全面を第一に、無理なく習得できるよう進めています。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>小規模を生かした保育は、異年齢児との関わりも多く、共に活動することで思いやりの気持ちが芽生えます。自然環境にも大変恵まれており、散歩へ出かける機会を設け、子どもの興味や関心の幅を広げると同時に、地域の方々に見守られながら心身ともに成長しています。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>乳児の保育は、一人ひとりの発達や家庭環境に応じた個別の指導計画のもと、安全面・衛生面に配慮しながら情緒の安定を図っています。園での様子は連絡帳に記入し送迎時に伝え、情報交換を密にして家庭との連携を行っています。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>3歳未満児の保育は、一人ひとりの発達に合わせた指導計画の基、生活に必要とする基本的な生活習慣が身につけられるよう援助しています。職員間で情報を共有するとともに、保護者と</p>		

<p>の連絡を密にしながら子どもの意欲を引き出し、伸び伸びと活動できるよう環境を整えています。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>3歳以上児は、各年齢の発達段階に即した指導計画のもと、様々な活動や遊びの中で友達同士が認め合い、個々の力が発揮できるよう保育を行っています。子どもたちの日々成長している姿は、それまでの出来事などを添えて園だよりやクラスだよりで発信しています。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>援助を要する場合、発達状況に配慮した個別の指導計画（栃木市公立保育園共通のすくすくシート）を作成し、それに基づきながら成長に応じた保育を行っています。担当の職員が配置され、園と保護者及び専門機関が連携を図り情報を共有しながら、子どもたちが安心して園生活をすごせるよう環境を整えています。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>登園の際は、登園時刻・送迎者名・連絡事項を記入してもらいます。職員は一人ひとりの在園時間を把握し体調を考慮しながらゆったりと過ごせるよう環境を整えています。保育士間の引継ぎは、子どもの様子をメモに記して渡し、保護者に正確な情報が伝えられるようにしています。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>5歳児は基本的な生活習慣や生活リズムの見直しを含め、就学を見通した指導計画に沿った保育を行っています。大平地区公立保育園(3園)の年長児による交流会を行い、ゲームをしたり食事を共にして、小学校への不安を取り除き期待がもてるようにしています。立地的に小学校への訪問は難しい所ですが、行事の際には卒園生を招待し、関わる機会を設けています。</p>		
<p>A-1-(3)健康管理</p>		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>登園時には家庭で記入した健康チェックカードを提出してもらっています。口頭でも保護者の方々に確認し、子どもの体調は職員間で周知しています。感染症の流行などの伝達事項は、保育室に設置してあるお知らせボードに記入したり、園だよりの「園長からのひとこと」の中で情報を発信し、予防・早期発見に努めています。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・b・c
<p><コメント></p>		

<p>毎年、健康診断・歯科検診を実施し、結果は保護者へお知らせしています。5歳児は歯と口の健康管理に関心が持てるよう、歯科衛生士による歯磨き指導が行われています。今後は、診断・健診後も日常生活に生かせる取組に期待します。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント> アレルギー疾患のある場合は、アレルギーに関する書類を提出してもらっています。給食は、医師の指示に基づく生活管理表に沿って除去食の対応を行い、配膳時には個別のトレイや専用の食器を使用して提供します。年に1度、栄養士と調理員を含めた保護者との面談を行い、献立内容や対応の確認をして誤食のないよう細心の注意を払っています。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
<p><コメント> 子どもたちの食に対する興味を育てるために、年齢別の食育カリキュラムを作成し、野菜栽培やクッキングなどを保育活動に取り入れています。毎月配布される食育だよりには、食べる意欲を高めるポイントも記載し、家庭においての食事の大切さも伝えています。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・b・c
<p><コメント> おいしい食事が提供できるよう、調理員と保育士が喫食状況や献立の内容・味付けについて毎月話し合いが行われています。地元の食材や旬の野菜を取り入れ、材料の切り方や調理の仕方など年齢別に配慮して毎日温かい食事が作られています。今後は、調理員が食事の様子を見たり話を聞く機会を持つことを期待します。</p>		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p><コメント> 毎月発行される園だよりには、生活の中のひとコマなど、子どもたちの園での様子を細かくお知らせしています。保護者の方に、保育のお手伝いをしていただく保育参加や保育参観を実施し、保育の内容や意図を理解したうえで保育士と家庭とが子どもの成長について共有できる機会を設けています。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p><コメント> 送迎の際は、保護者とのコミュニケーションを大切にし、子育てについての相談なども気軽に</p>		

<p>応じられるようにしています。内容によっては面談を設けたり、関係機関との連携を図り、安心して子育てができるよう支援しています。相談内容は記録し、職員間で情報を共有しています。</p>		
A⑱	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>心身の安全を守るため、日々子どもの様子を観察し、虐待の早期発見・予防に努めています。疑いが見られた場合は、園長に報告後、関係機関に連絡し対応にあたります。今後も、全職員の認識を高めていく取組みに期待します。</p>		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>保育士は年に2回の自己評価を行い、保育の反省や課題に気づき、保育の質の向上と保育園の信頼度を高めています。これからも一人ひとりの意識改革に向けての取組みに期待します。</p>		